

編集後記

前世紀末のIT革命によって、あたかもパラダイムシフトかのように急進展したデジタル化とネットワーク化は、大学図書館を取り巻く環境にも急激な変化をもたらしました。つまり、あらゆるメディアのすみずみまで浸透していった電子化とネットワーク化が、「情報の記録と複製の水準でも、公開と伝達の水準でも、収集と蓄積の水準でも」大きな影響を及ぼして（『図書館情報学ハンドブック』）、それまでと異なった方法で図書館利用の支援サービスがおこなわれています。ほんの一例にすぎませんが、本誌この号において田中館長が「本を写すことと切ること」で述べられた『北山切 新古今和歌集』の写本であっても、これをデジタル画像に収めて蓄積しているばかりではなく、その全帖を図書館ホームページの「電子展示室」から公開しています。このようなコンピュータの急速な発達および電子化とネットワーク化の変化を評してdog yearといわれていましたが、今やもっと目まぐるしいということでmouse yearと称されるようになりました。人生の大半を20世紀に生きてきた者にとっては、目を見張る思いがいたします。

本学図書館は、学則と図書館規程に明文していますように学術情報の中枢機能を担い、①収集、整理、保存および提供という基本的使命を継承するとともに、②電子化情報へ対応して変革していく、いわゆる「ハイブリッド型図書館」として、全国でも先進的にネットワーク情報源の有効利用を図っております。この号に掲載の自己点検・評価報告書をご覧ください。「図書館資料の有効利用」について検証し、その結果を公表しております。

実は、この『図書館フォーラム』もささやかながら電子化の一端に寄与しており、第5号（2000年）から全文を電子ジャーナルとして閲覧することができます。よって、前号を配布しました際に、特に希望がある場合を除き各大学図書館への送付を見合わせる旨お願いしました。これからは、図書館ホームページからPDFファイルでご覧願います。

本学は、今秋、創立120周年を迎えます。図書館は大学の発展とともに創設100年を経ました。この号も大学の先生および図書館職員の積極的な投稿がありました。次号は大きな節目の号でもありますので、倍旧の寄稿をいただきますようお願いしております。
(船越)

『図書館フォーラム』をホームページで公開しております。次の[URL]でアクセスすることができます。

URL <http://www.kansai-u.ac.jp/Library/home.htm>

図書館フォーラム編集委員

市原憲厚・井上雪子・加藤博之・鈴木恵子・船越一英

関西大学 図書館フォーラム 第11号 (2006)

平成18年6月26日印刷
平成18年6月30日発行

編集・発行 関西大学図書館
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
TEL 06-6368-1157

印刷所 (株)遊文舎
〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-17-31
TEL 06-6304-9325
